

ふるさと米原の未来のため

かわしましんいち

川嶋 眞一

Shinichi Kawashima

創造を情熱で Create with Passion



「かわしましんいち」のプロフィール

1963年（昭和38年）3月1日  
 京都市生まれ（58歳）米原市米原在住  
 京都府立乙訓高校、立命館大学理工学部  
 数学物理学科物理学課程卒  
 日本IBM野洲工場入社、途中教社を経て  
 現在オムロン株式会社 野洲事業所  
 グローバル戦略本部 品質保証部 部長  
 元米原ステーションタウン自治会長  
 家族：妻、4歳の双子の男の子・2歳の女の子  
 定年退職後は、「主夫」をメインにすべく  
 現在子育て・家事を修行中

2021/09 Vol.03 発行：勝手に米原をPRする会・川嶋眞一後援会 〒521-0012 米原市米原 1255 番地 TEL:090-3995-6864 責任者：川嶋眞一

縁あって居を構えた米原

そこには「温かい人達」・「豊かな自然」・「大切にしたい伝統」：日本の原風景  
「新幹線停車駅」：交通の要所、2つの違った大きな魅力がありました。

私にはまだ幼い3人のこどもがいます。生活のすべてがこども中心です。

こどもたちの「ふるさとになる米原」に、30年以上民間企業に勤めている  
人生経験の全てを注ぎ、みなさまのお役に立ちたい、と思うようになりました。

大きな魅力をさらに大きく、一步一步確実に、大胆かつロジカルな発想を通じて  
米原市のために、地元のために、残りの人生のすべてをかける意思をかためました

すべては「ふるさと米原」の未来のために



かわしましんいちが、みなさんとの直接対話を一番大切にします。  
日頃みなさんが感じていることを、ぜひお聞かせください！

携帯：090-3995-6864 メール：katteni\_maibara@yahoo.co.jp

後援会規約（抜粋）

- ◎本会は「勝手に米原をPRする会・川嶋眞一後援会」と称し、その事務所を滋賀県米原市米原 1255 川嶋眞一の方に置く。
- ◎本会は川嶋眞一と共に米原市をPRし将来を考え、同時に会員相互の親睦を図ることを目的とする。

ワクチン接種が進んでも新型コロナ感染拡大が止まらない昨今、Web 中心に情報発信をします。ぜひご覧いただき、お声をお聞かせください。相変わらず保育園の送迎や買い物で米原駅周辺をこども連れでうろうろ歩いております。登校見守り活動も続けています。移動はロードレーサー（自転車）、日本サッカー協会公認 D 級ライセンスも有している体育会系な一面と、学生時代バンドでキーボードを奏でていた文化系な一面があります。

お会いできた際は、米原のこと、子育てのこと、スポーツのこと、音楽のこと、ぜひいろいろお話をさせてください。



詳しい内容は、ブログをご覧ください  
ご入会申し込みも、ブログからお願いします

勝手に米原をPRする会・川嶋眞一後援会  
<http://maibara-kawashima.blog>



[twitter.com/kattenimaibara](https://twitter.com/kattenimaibara)



[instagram.com/katteni\\_maibara/](https://www.instagram.com/katteni_maibara/)



# かわしまが目指す、「ふるさと米原」のビジョン

ここに生まれ育ち、誇りが持て、心休まる街。住んで良かった、ずっと住み続けたい街。  
いつか戻って来たい街。何度も訪れたい、移り住みしたい街。この街いいよ、ってPRできる街。  
そしてそこに住むみなさんが、生きがいを感じ、米原に対する「愛」に、満ちあふれている街。



## ビジョン実現のための「3つの考え方」と「5つの政策」

### バックキャスト型思考

創造を情熱で

Create with Passion

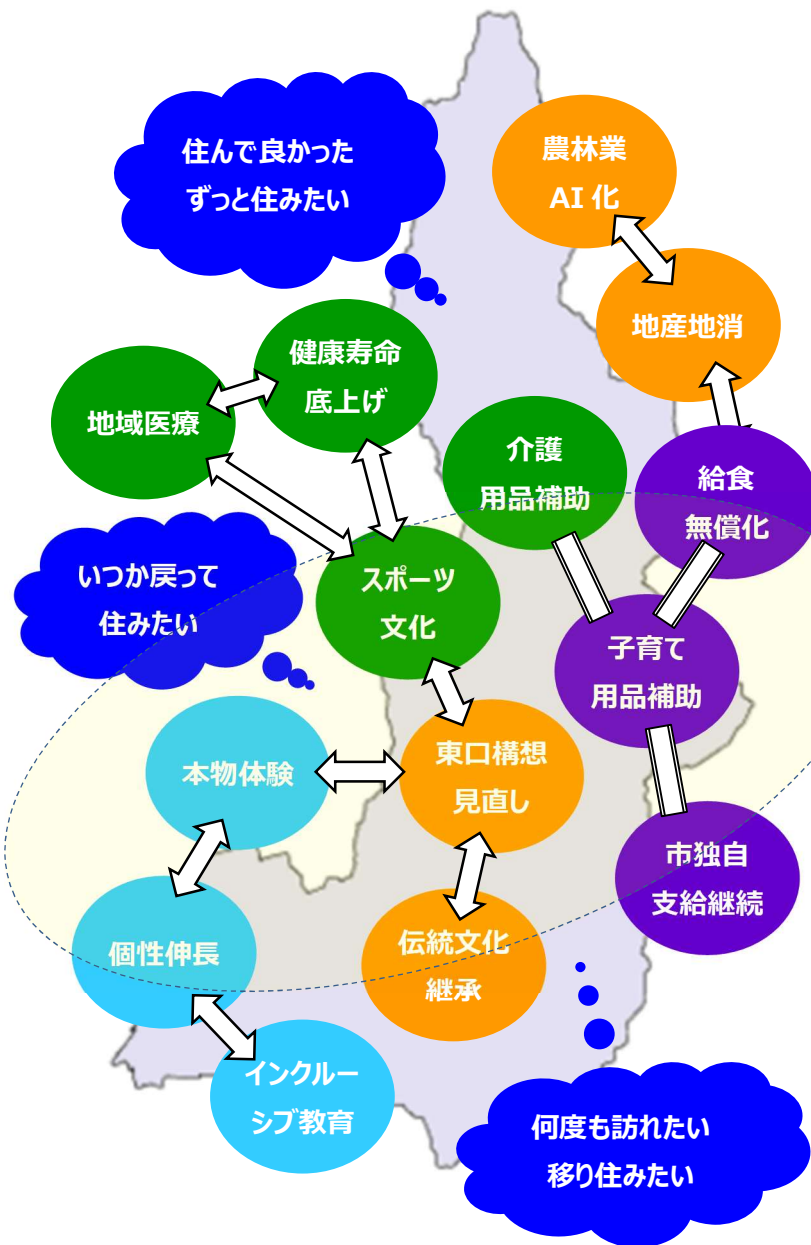
未来の達成したい姿を定め、  
いかに実現させるか徹底的に  
考え・実行します

### 論理的・科学的思考

民間企業出身を活かし  
政策をデータで検証し  
客観的に考え・実行します

### 循環・連携型思考

子育て・教育・福祉・地域振興  
など、政策間の繋がりから  
相乗効果を生み出します



## 1 子育て

- ✓ オムツ・ミルク等子育て必需品購入の補助をします
- ✓ フードロス仕組み化等を通じて給食費を無償化します
- ✓ 児童手当特例給付廃止相当額を独自支給します

## 2 教育

- ✓ 「本物を体験する機会」を、地域共生を通じて増やします
- ✓ 「こどもファースト」で、ひとりひとりの個性を更に伸ばします
- ✓ インクルーシブ教育が当たり前になる学校にします

## 3 健康・福祉

- ✓ オムツ等介護必需品購入の補助をします
- ✓ 検診結果の個別分析を通じて健康寿命の底上げをします
- ✓ 全ての年代が熱中できるスポーツ・文化機会を提供します
- ✓ 無医地域の解消と事前対応で地域医療を守ります

## 4 地域振興

- ✓ 農業・林業のAI化推進で、新規就労者を取込みます
- ✓ 米原駅東口構想を、教育・健康・福祉視点で見直します
- ✓ 曳山祭りなど伝統文化継承と、敬う心の情報を発信します
- ✓ ポイント還元等による、地産地消加速と情報を発信します

## 5 行政・議会改革

- ✓ 政策について、常に活発に議論・提案し続けます
- ✓ 定期的に住民対話を行い、行政・政策立案に繋がります
- ✓ 優先順位を定量化し、タイムリーな政策実現に拘ります

上は「ふるさと米原のビジョン」と各政策の模式図です。

「子育て」「教育」「健康・福祉」「地域振興」は、お互い補完しあい、2倍3倍の成果を上げる構図です。  
人口減少は避けられません。益々厳しくなる予算有効活用のためには単独から複合への政策連携が必要です。  
黄色楕円は人口減少抑制対策でもあります。 “すべては「ふるさと米原の未来のために」”